

スタンダード タイプ

MEPAC ベーシックと呼ばれる 2 本爪のスタンダードタイプです。複動型と単動型があり、ともに動作に無理のない独自の機構と精密加工によってつくられた高精度な平行スライドエアチャックです。軽快で確実なアクションと、小型・軽量化を実現しています。

工業用ロボットをはじめ、自動組立機、搬送装置など一般産業機械のチャッキングパーツとして多くの実績を上げています。

		ストローク (mm)		
		4	5	6
単動	常時開 (NO)	○	○	○
単動	常時閉 (NC)	○		○
複動		○	○	○
単動 (NO)	センサ付き		①	①
複動	センサ付き		①	①

※○内数字はセンサ取付数 (Max)



安定した把持性能

平行に開閉する機構ですから、ワークに対するチャックの当たり面はつねに一定。把持寸法にバラツキのある場合や、異形状の場合でも安定したチャッキングができます。

作動が軽く、高速応答性にすぐれています

平行開閉スイングアクションレバー機構を採用。さらに、摺動部には軽く滑らかに作動する超小型精密ローラを内蔵。こじれ現象がなく、高速応答性にすぐれ、同時に十分なクランプ力を得ることができる機構です。

取付調整バツグン

ボディのシャンク部で固定することにより、高さ及び回転方向の位置調整ができスピーディーなセットアップが実現します。

小さく、軽く、長寿命

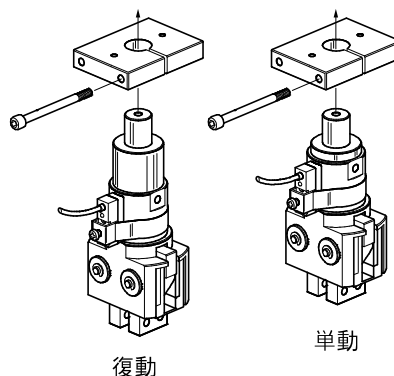
独創の機構が小さなボディで高性能を実現しました。ですから装置を小型化することが可能。しかも、動作方向に無理な力が加わらないため、耐久性に秀で長期にわたって初期性能を維持できます。

動作検出

複動・単動ともにセンサ付きを用意しています。



取付例



※詳細は A-70



■ 開閉動作

単 動

単動型はフィンガとフィンガの間または、大ピストンや小ピストンの間にスプリングを組み込み、NO（常時開）,NC（常時閉）の機構になります。

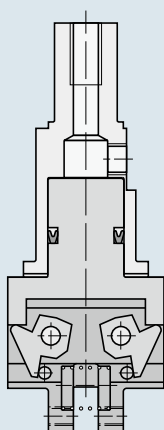
復 動

ポート A からエアを入れると大ピストンが錨型アクションレバーを旋回させ【閉】にします。

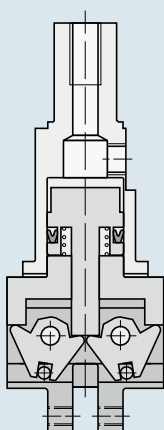
ポート B からエアを入れると小ピストンが錨型アクションレバーを逆方向に旋回させフィンガを【開】にします。

復動型 X9570 のみピストン構造が異なりポートが逆になります。

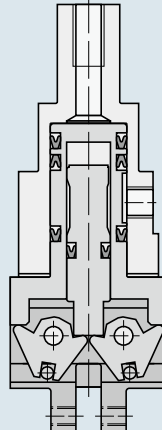
■ 機構図



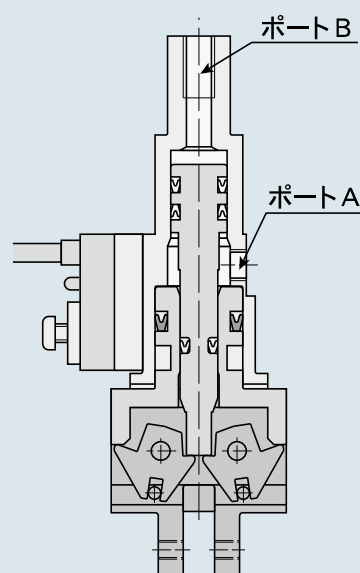
単動（NO）



単動（NC）



復動
X9570



復動
X9571・X9572

スタンダード X95 □□ (センサ無しタイプ)



単動型

復動型

- 極小ワークピースから大きなワークピースまで豊富な機種から選べます。
- 復動型・単動型（NO・NC）を用意。用途にあわせて選べます。

■ バリエーション

モデルNo. \ ストローク (mm)	4	5	6
X95□□-NO	○	○	○
X95□□-NC	○		○
X95□□ (復動)	○	○	○

※センサ付はA-38ページ

製品記号の読み方

X95□□-□□

モデルNo.

サイズ記号

無記号: 復動

NO: 単動 (常時開)

NC: 単動 (常時閉)

■ 基本仕様

動作方式	単動型・復動型／平行開閉
使用流体	清浄空気 (ろ過済み圧縮空気)
使用圧力範囲	0.3～0.5MPa
周囲温度	5～50℃
潤滑	無給油またはタービン油JIS #90相当
配管接続口	M5×0.8
使用頻度	60CPM (max)
繰返し位置精度	±0.05mm

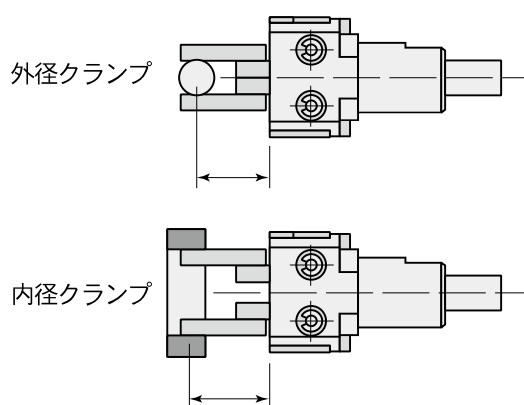
※ 注意事項A-68～をあわせてご覧ください。



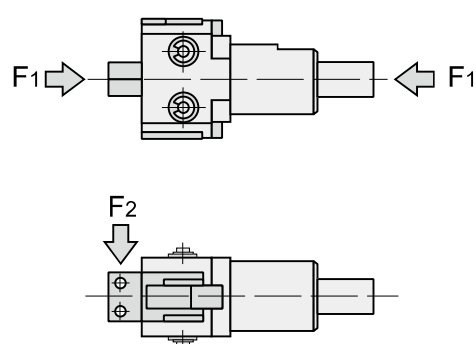
■ 型式

タイプ	モデルNo.	シリンダ径 (mm)	ストローク (mm)	理論クランプ力 (N)	最大把持点 (mm)	最大許容荷重 (N)		質量 (g)
						F1	F2	
単動	常時開	X9558-NO	8	4	5.0	13	7	18
		X9559-NO	10	4	8.5	16	10	28
		X9560-NO	12	4	13.0	23	13	46
		X9561-NO	14	5	18.0	30	20	62
		X9562-NO	16	6	24.0	37	27	90
	常時閉	X9559-NC	10	4	10.0	16	10	28
		X9560-NC	12	4	13.5	23	13	46
		X9562-NC	16	6	27.0	37	27	90
復動	X9570	12	4	20.5	19	23	13	57
	X9571	14	5	24.5	20	30	20	78
	X9572	16	6	34.0	28	37	27	112
備考	※1・2		※3	※4・5		※6・7		

● 最大把持点



● 最大許容荷重



■ 備考説明

- ※1 センサ無しのタイプは後からセンサの取り付けができません。
 ※2 NO タイプは内径把持で使用しますとワークがセンタリングしません。
 ※3 ストローク公差は0～+1mm程度になります。
 ※4 クランプ力は空気圧0.4MPaでの理論値です。

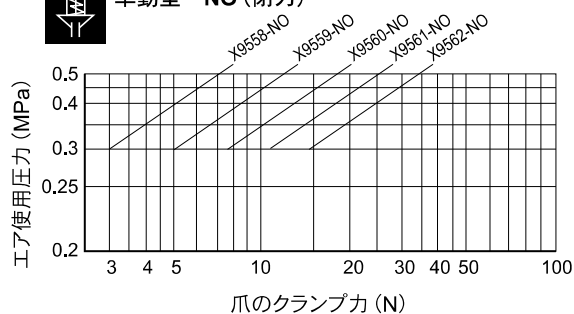
- ※5 復動型は閉じ側のクランプ力です。開き側のクランプ力は、閉じ側のクランプ力の1/2～1/3になります。
 ※6 最大許容荷重は静的許容荷重であり、フィンガが動作可能な範囲ではありません。
 ※7 最大許容荷重は目安であり、保証値ではありません。外力はできるだけ軽減させてください。

スタンダード X95 □□ (センサ無しタイプ)

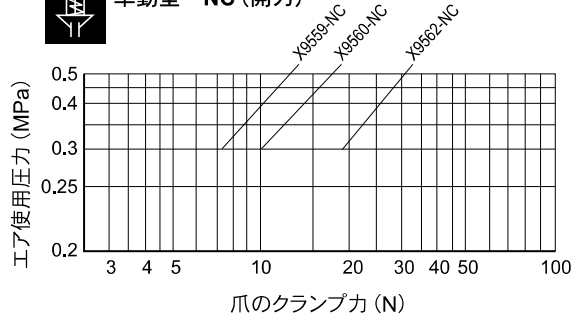
■ 単動型 クランプ力



単動型-NO (閉力)

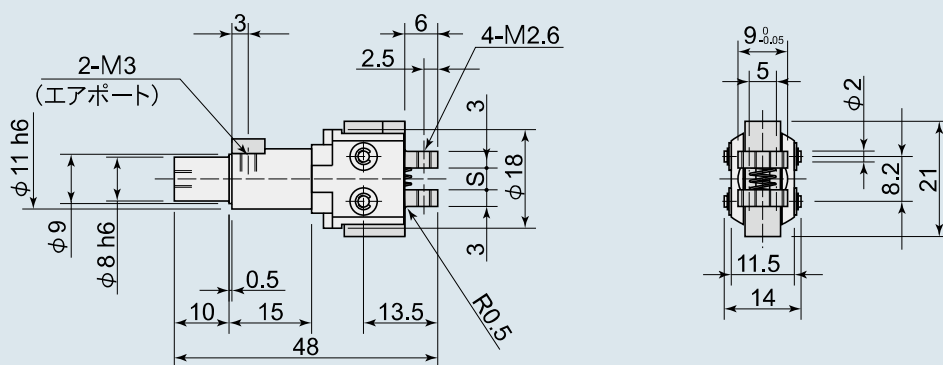


単動型-NC (開力)



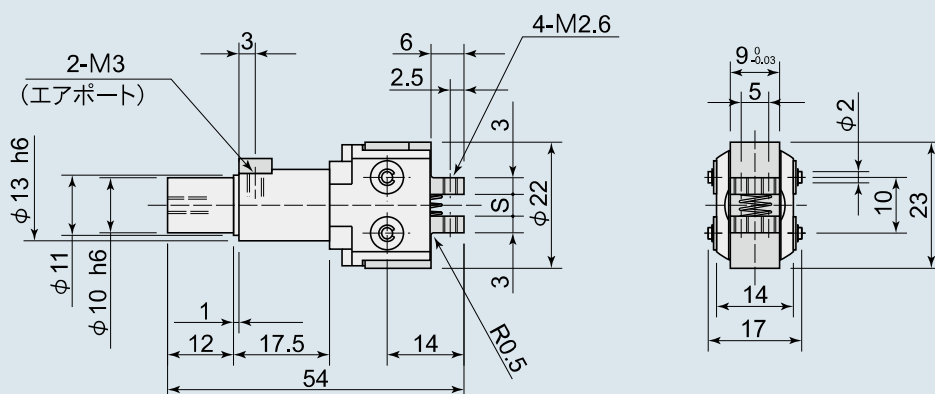
■ 寸法図

X9558-NO



	開	閉
S	4	0

X9559-NO (NC)

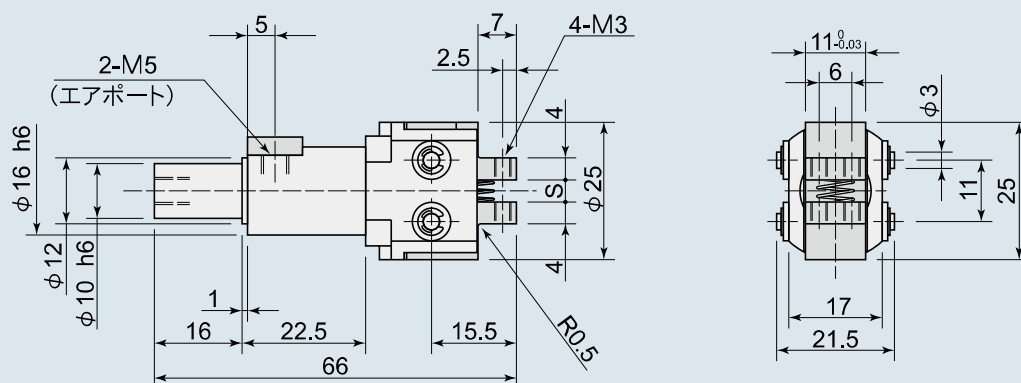


※ NCはフィンガ間スプリング無し。

	開	閉
S	4	0



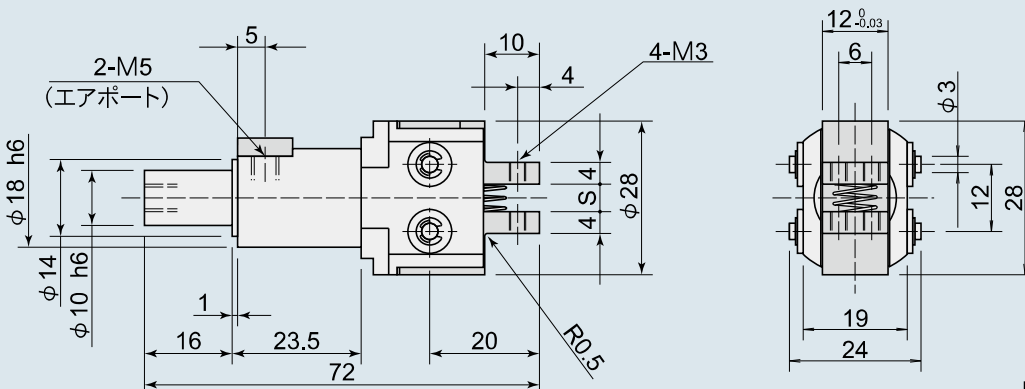
X9560-NO (NC)



※ NCはフィンガ間スプリング無し。

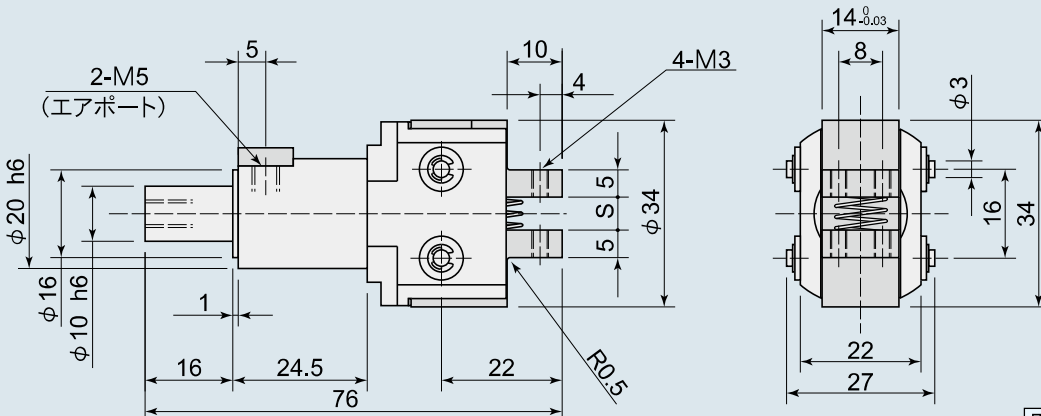
	開	閉
S	4	0

X9561-NO



	開	閉
S	5	0

X9562-NO (NC)



※ NCはフィンガ間スプリング無し。

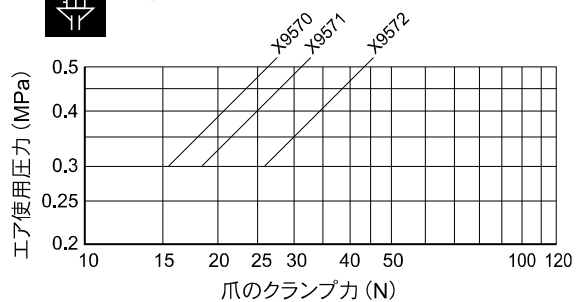
	開	閉
S	6	0

スタンダード X95 □□ (センサ無しタイプ)

■ 復動型 クランプ力

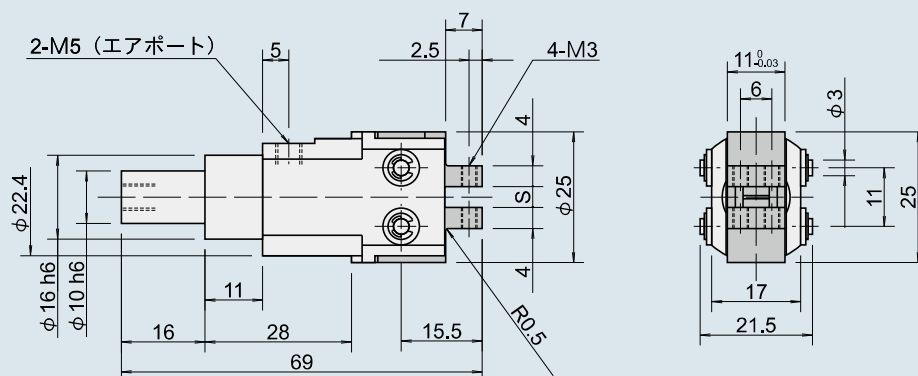


復動型



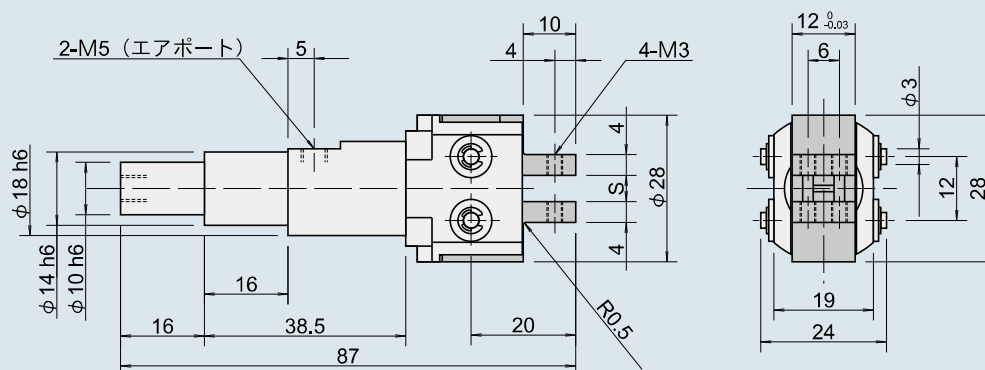
■ 寸法図

X9570



	開	閉
S	4	0

X9571



	開	閉
S	5	0

スタンダード X95 □□ S (センサ付タイプ)



- 極小ワークピースから大きなワークピースまで豊富な機種から選べます。
- 復動型・単動型（NO）を用意。用途にあわせて選べます。
- 開閉動作確認センサにより、フィンガ開端位置の検出ができます。

■ バリエーション

ストローク (mm) モデルNo.	5	6
X956□S-NO	○	○
X957□S（復動）	○	○

製品記号の読み方

X95 S - -

モデルNo. サイズ記号

無記号:復動
NO:単動(常時開)

無記号：センサなし
S：センサ1個付

■ 基本仕様

動作方式	単動型・復動型／平行開閉
使用流体	清浄空気（ろ過済み圧縮空気）
使用圧力範囲	0.3～0.5MPa
周囲温度	5～50℃
潤滑	無給油またはタービン油JIS#90相当
配管接続口	M5×0.8
使用頻度	60CPM（max）
繰返し位置精度	±0.05mm

■ センサ仕様

形式	VR15
使用電圧範囲	AC10～125V・DC10～100V共用
使用電流範囲	6～40mA
最大開閉容量	(AC)2VA・(DC)1W
動作時間	1msec以下
耐衝撃性	30G
表示灯	発光ダイオード ON時点灯
使用温度範囲	－10～＋60℃
コード長さ	5m

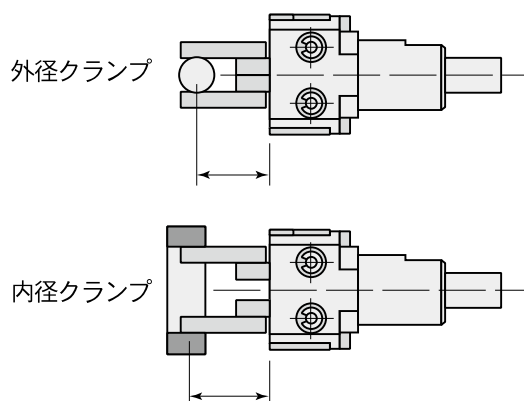
※ 注意事項 A-68 ～をあわせてご覧ください。
※ センサの取り扱いは A-78 を参照してください。



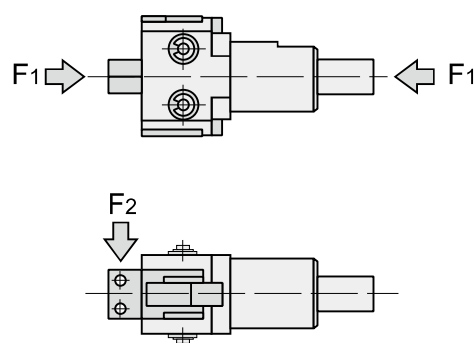
■ 型式

タイプ		モデルNo.	シリンダ径 (mm)	ストローク (mm)	理論クランプ力 (N)	最大把持点 (mm)	最大許容荷重 (N)		質量 (g)	センサ 取付数
							F1	F2		
単動	常時開	X9561S-NO	14	5	18.0	20	30	20	62 (94)	1
		X9562S-NO	16	6	24.0	28	37	27	90 (122)	1
復動		X9571S	14	5	24.5	20	30	20	78 (110)	1
		X9572S	16	6	34.0	28	37	27	112 (144)	1
備 考		※1		※2	※3・4		※5・6		※7	※8

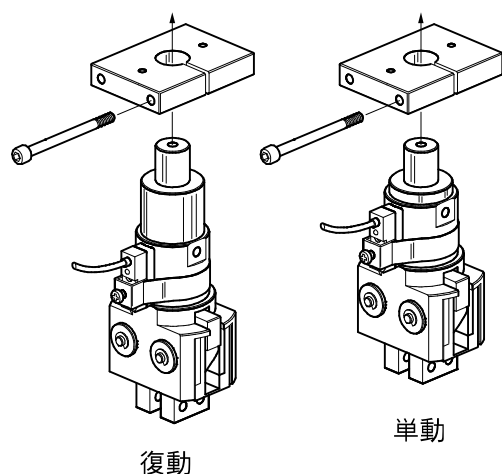
● 最大把持点



● 最大許容荷重



■ 取付例



■ 備考説明

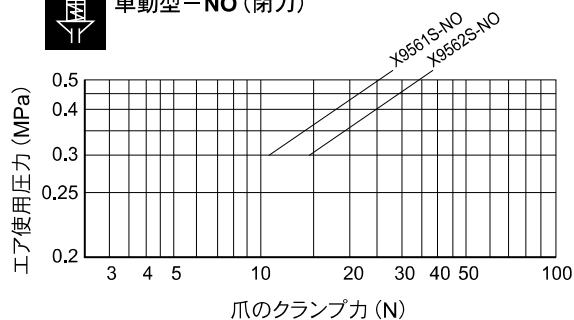
- ※1 NOタイプは内径把持で使用しますとワークがセンタリングしません。
- ※2 ストローク公差は0～+1mm程度になります。
- ※3 クランプ力は空気圧0.4MPaでの理論値です。
- ※4 復動型は閉じ側のクランプ力です。開き側のクランプ力は、閉じ側のクランプ力の1/2～1/3になります。
- ※5 最大許容荷重は静的許容荷重であり、フィンガが動作可能な範囲ではありません。
- ※6 最大許容荷重は目安であり、保証値ではありません。外力はできるだけ軽減させてください。
- ※7 質量()内はセンサ付きの場合です。
- ※8 センサ取付角度は寸法図に示す位置から90°ごとになります。

スタンダード X95 □□ S (センサ付タイプ)

■ 単動型 クランプ力

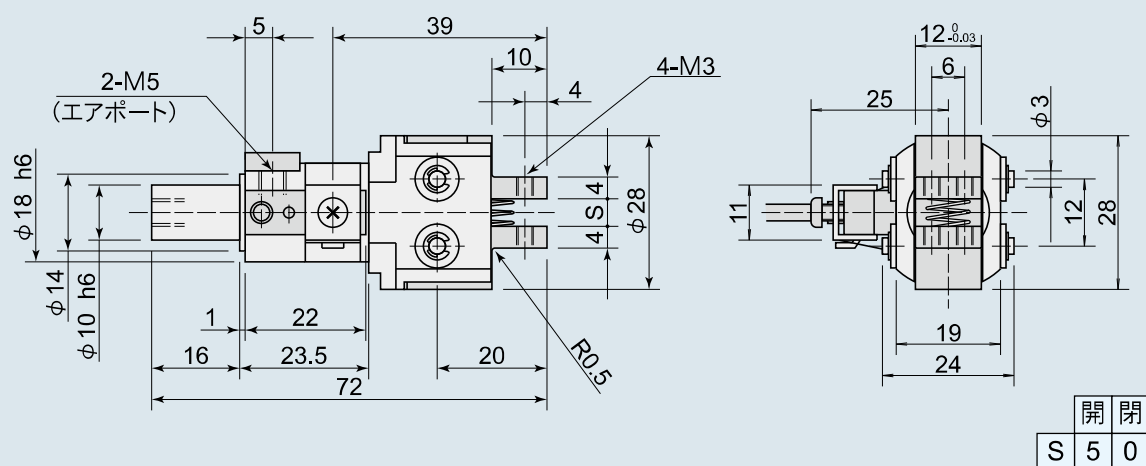


単動型—NO (閉力)

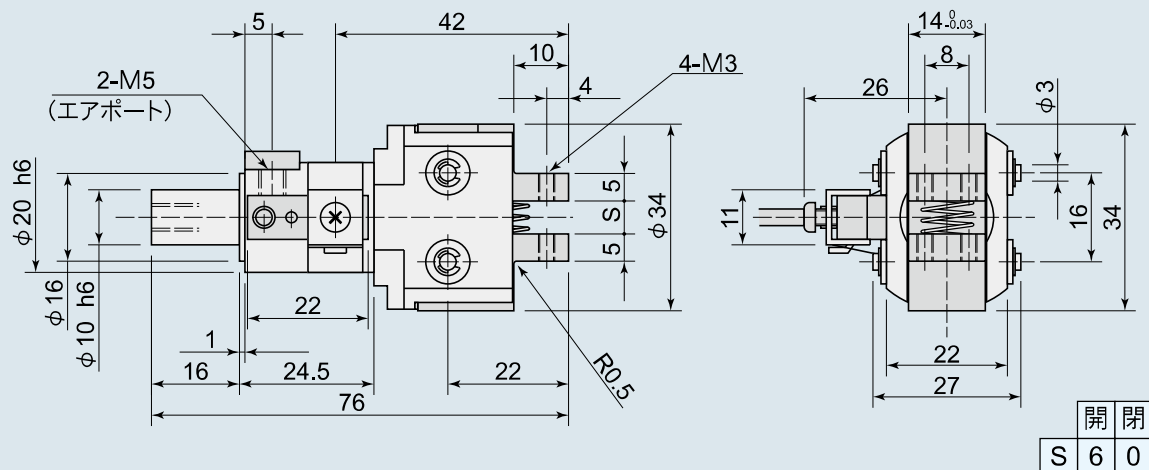


■ 寸法図

X9561S-NO-S



X9562S-NO-S

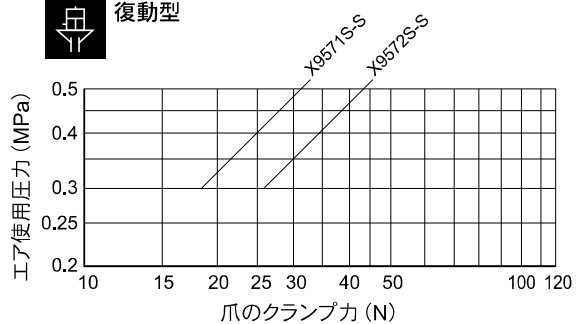




■ 復動型 クランプカ



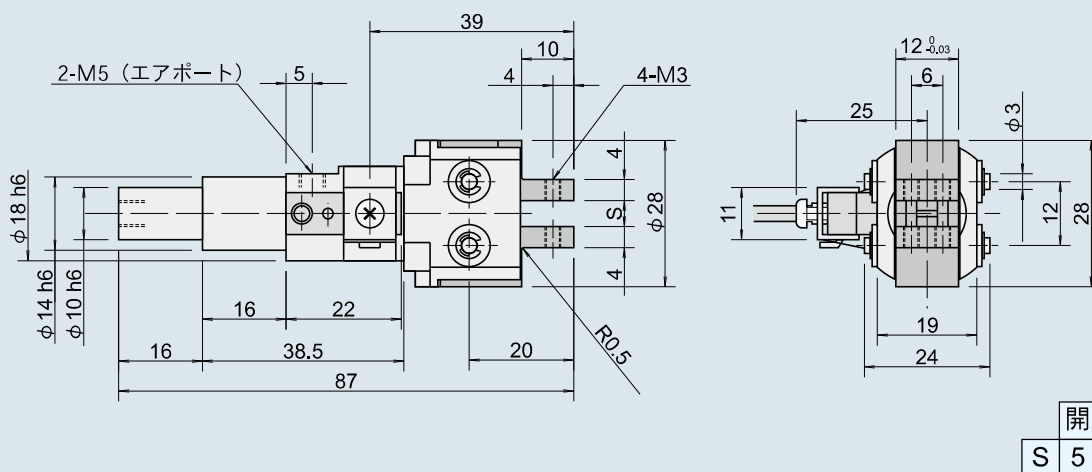
復動型



MEPAC
チャック

スタンダード

X9571S-S



X9572S-S

